

放課後子ども総合プラン運営委員会（第2回）

●開催年月日 平成27年11月10日（火）

●場 所 江南市役所 3階 第3委員会室

●出席者 出席委員 13名

会 長	伊 藤 鶴 吉
副 会 長	松 本 秀 樹
委 員	柴 田 広 美
委 員	今 井 敦 六
委 員	藤 田 佐知子
委 員	小 河 元 男
委 員	三 浦 光 俊
委 員	橋 本 禎 枝
委 員	尾 関 順 久
委 員	梶 田 福 好
委 員	滝 保 子
委 員	大 竹 誠
委 員	菱 田 幹 生

欠席委員 1名

委 員	吉 野 薫
-----	-------

説明のため出席した職員

教 育 長	石 井 悦 雄
教 育 課 長	武 馬 健 之
教育課主幹	梅 本 孝 哉
子育て支援課副主幹	大 脇 信 之

事務職員 教育課主任

青 野 貴 史

午後1時25分 開 会

1. 教育長あいさつ

2. 会長あいさつ

3. 議題

(1) 放課後子ども教室の実施状況報告について

事務局より説明

質疑

委員 昨年度と比較して出席率が上がっているし、フジッ子だよりを読ませていただくと、コーディネーターの方たちがしっかりやってくれているという印象を受ける。

委員長 10月から始まった古知野西小学校の様子はどうか。

委員 申込みは思ったより少なく、25名であった。保護者の方は、送迎の時間等を守っていただき、問題なく運営できている。

委員長 布袋小学校の様子はどうか。

委員 管理員の変更があり、雰囲気が変わった印象を受けている。子供たちは楽しそうに過ごしており、問題はないと思われる。

教育長 学童保育にしても、放課後子ども教室にしても、どのような場所で実施していくかが、今後の検討課題となってくると思われる。学校とは別の施設を新たに造るのか、学校内の余裕教室を使うのかという部分について、すべての学校において、必ずしも余裕教室があるわけではない。江南市内で、実際に余裕教室があるのは、藤里小学校ぐらいではないか。他の学校では、児童数がかかなり増えているところもあり、少人数での学習等に支障をきたしている学校もある。また、駐車場についても、先生方の駐車について、かなり苦勞をしている学校もある。そういった現状の中で、いかに放課後子ども教室及び学童保育の実施場所を選ぶかも重要である。古知野西小学校については、一時児童数が増えたことから、臨時校舎を2教室分、学校とは別の建物として建築している。その2教室については、現在特別な指導のために使っているため、一定の時間以降であれば、放課後子ども教室や、学童保育の教室として使うことができている。しかし、他の学校については、必ずしもそういった場所があるわけではないため、実施場所を確保することも重要である。

委員 フジッ子だよりを拝見したが、子供が興味を持ってもらいやすく、参加したいと思える内容になっている。フジッ子教室に参加している児童に話を聞く機会があったが、すごく楽しいという声も聞いている。

委員長 放課後子ども教室の宮田教室は、他の教室に比べて定員が多いが、

どのような理由か。

教育長 多くの定員を確保できる場所に教室を造ったからこそ、参加希望者も多くなっていると言えないか。

事務局 それも要因の一つではないかと思われま。宮田小学校のフジッ子教室は、他の教室のように余裕教室を使用しているのではなく、体育館2階の、教室よりも広い部屋を使用しています。しかし、定員数を超える入室希望をいただいておりますので、今後の課題となっております。

教育長 他校でもそういったことは可能なのか。

事務局 体育館の形状によるところが大きく、一般的に小学校の体育館ですと、あまり2階部分があるものはありません。宮田小学校が、たまたま該当していたというのが現状です。

(2) 学童保育実施状況報告について

事務局より説明

質疑

委員 今年の待機児童はどのぐらいか。

事務局 9月末現在、約30名おります。この30名は、学童の申し込み期限外の受付となった方たちです。学童は12月1日から15日の間で申し込みを受け付けておりますが、それ以外の時期に申し込みがあった場合、空きがないと待機となってしまいます。今現在空きがありませんので、30名ほど待機となっている状態です。

委員 申し込み期間内に申し込んだ児童は、全て受け入れているのか。

事務局 期間内に申し込みのあった児童については、条件が合う限り、極力受け入れております。

委員 表を見ると、古知野東小学校は定員50名に対して、在籍者が112名となっているが、50名までということではないのか。

事務局 そのとおりです。在籍者は112名ですが、出席率は58.9%ですので、平均出席者数は66名となります。50名に対して66名であれば実施可能ですので、受け入れております。100%の人数が参加することとはまずないため、平均出席者数を基準に判断しております。

委員 在籍はしているが、出席していない場合、様々な事情があるのか。

事務局 学童保育は就労支援が目的ですが、両親が休みだった場合、また、習い事に参加する場合などの理由で、必ずしも毎日出席するわけではありません。平均すると、毎回60名ほどが参加しているという状況です。

委員 宮田小学校について、放課後子ども教室と同様に、受け入れ人数が他校と比較して多いが、教室が広いのが原因か。

事務局 宮田小学校については、今年度新しく施設を建設いたしました。

40名の定員で2教室分、併せて80名分の定員となりました。平成26年までは100名以上の申し込みがありましたが、今年度はやや少なく、90名の申し込みがあり、現在在籍しております。

委員長 学校に専用の建物を建設したのは、宮田小学校のみか。

事務局 宮田小学校につきましては、以前宮田児童館という建物で学童保育を実施していましたが、耐震補強工事を検討する中で、建て替えということになりました。そこで、児童館等は廃止し、学童保育専用の建物を建設しました。これから順次、学校側と協議しながら専用施設の建設を進めていきたいと考えております。専用施設としては宮田小学校が第1号でございます。

委員長 市の計画として、今後、2号、3号と建設していく場所の候補はあるのか。

事務局 今年度9月より、門弟山小学校にて新たに建設工事を進めております。その後、順次建て直しを計画してまいります。

委員長 ニーズとしては、やはり多いのか。

事務局 門弟山小学校につきましては、現在、体育館の管理室を利用して実施しておりますが、定員が32名に対して、66名が在籍しております。場所としてはかなり手狭となっており、宮田と同程度の40名教室2室、合計80名の定員で進めております。その後、計画中のものとして古知野東小学校がございまして、現在、古知野児童館で学童保育を実施しておりますが、住所としては古知野南小学校の学区となっております。この状況を改めるため、何とか古知野東小学校のご協力をいただきながら、建設を進めていきたいと考えております。

委員 布袋小学校について、定員60名に対して在籍者数111名、平均出席者数72名となっているが、子供達が密集しており、大変そうに見受けられる。事故が起きないように、是非とも対処していただきたい。

委員長 宮田小学校の学童保育の施設の名称は何か。

事務局 宮田小学校学童室となっております。

(3) 放課後子ども教室・学童保育の一体型プログラムについて

事務局より説明

質疑

委員 子供たちがそこで過ごす時間が違うといったことや、実施に当たっての打ち合わせ等、今後クリアしていかなくてはいけない課題もあると思うが、よいことだと思う。

委員長 学校としてはどの程度関与しているのか。

委員 職員として、実施については把握しているが、ほとんど関与していない。

委員長 教育委員会の方で実施しているということか。

事務局 そのとおりです。放課後子ども教室は、学校から帰宅した子供に対して、居場所を提供しているという考えで実施しております。基本的にはコーディネーター、安全管理員、学習アドバイザーで運営していくという流れとなっております。

委員 学童保育と放課後子ども教室は、目的や設置者が違うが、保護者としては、「子供を預かってくれる場所」ということで、同じような感覚ではないかと思われる。将来的には、一体化をさらに進めていく計画等はあるのか。

事務局 本来の趣旨は違いますが、同じ学校の子供たちが過ごす場所ということで、保護者の目線から見ると、学校で一緒に過ごしているという意識があることは承知しております。

現在、古知野西小学校で第1回目の一体型プログラムを実施しました。このプログラムを実施するにあたり、放課後と学童の両コーディネーターが連絡を取り合いながら企画、準備等を進めてまいりました。難しい部分もありましたが、実際に実施していただいた方々につきましては、しっかりした使命を持って取り組んでいただいております、大変感謝しております。第1回の打合せの段階では、まずは月に1回程度で実施していくという流れとなっております。今後、軌道に乗れば回数を増やすことも考えられますが、その他の学校での放課後及び学童の展開も控えておりますので、現状を踏まえ、検証した上で進めていきたいと考えております。

また、今回のご質問からは外れますが、第1回の一体型プログラムを実施したすぐ後に、北海道のニセコ町から急遽電話がございました。一体型プログラムについて、ぜひ見学をさせていただきたい、というもので、11月中に視察にみえる予定となっておりますので、申し添えさせていただきます。

委員長 配付資料6ページにアンケート結果が出ているが、放課後子ども教室について、未実施である自治体の課題点の回答として、「その他」の項目の中に「市町村で廃止した経緯がある」「他事業との兼ね合い」というものがあり、実施の難しさがうかがえる。さらに、一番の問題として場所と予算がある。こういった点への対応はどうなっているか。

事務局 資料内の「その他」の、具体的な内容までは承知しておりません。今委員長からお話のあった施設、予算といった点につきましては、ハード面とソフト面、財政も含めた上で非常に重要なものだと認識しております。その上で、学校現場のご協力というものも非常に大切ですので、学校側との協議のうえで、順次進めていきたいと考えております。

委員長 一体型プログラムは、1、2年生のみが対象なのか。

事務局 古知野西小学校につきましては、元々学校側が教室として使用し

ていた部屋を使って展開しております。今回は25名程度で、そこまでの数ではありませんが、放課後と学童の子供が、一つの教室と一緒に入るということで、安全面を考慮する必要があります。また、今回は午後3時15分から実施したということで、低学年中心となりましたので、安全面を考慮して1、2年生のみで実施いたしました。

(4) 意見交換について

委員 前回、放課後子ども教室の設置が難しいと伺っていた3校について、何か対策や考えはあるか。

事務局 放課後子ども教室の実施場所である余裕教室があれば、ご協力をいただくことが可能かと思いますが、現状なかなか難しい部分があります。学校の規模、地域のお住まいの状況等がありますので、学校現場で難しいようであれば、いろいろな方法を考えていく必要がありますが、予算面等も考慮して進めていきたいと考えております。

委員 古知野西小学校で放課後子ども教室が始まり、併せて一体型プランも実施されているが、校舎のトイレを使用するにあたり、生徒が2階に上がらないよう、階段にシャッターを設置するという要望があったが、来年度の工事は可能なのか。

事務局 予算面につきましては、3月にならないければ最終決定ができないものですが、非常に厳しい財政状況となっております。金額は様々ですが、各学校から放課後子ども教室への要望もあります。教育委員会といたしましては、優先順位を付けながら、必要なものから順次実施していく予定でございますので、この場での回答は控えさせていただきます。

4. その他

次回の運営委員会については2月を予定

午後2時25分 閉 会